

三河本苑 2024.12.01

少年冬季学級

みんなで参加しよう

ともだちをさそってね

クリスマスもお正月も自分でつくって楽しもう!

お正月に自分に届く年賀状を自分で作ってみる活動や簡単ケーキづくりなど、自分で作って楽しむ企画を考え中です。たくさんの子どもたちの参加をお待ちしています!

【日時】

12月1日(日)

AM 9時30分受付

AM 10時～PM 3時頃

◆申し込み先/三河本苑事務局 TEL 0533-69-7518

◆申し込み締切り/11月17日(日)

三河本苑11月月次祭までに本苑事務局へ

三河本苑だより

11月号

2024・11 No.510

(発行者)

大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町2-8-5

TEL 0533-69-7518

FAX 0533-69-1455

宣伝使研修会報告

教務局長 永田 修三

九月二十九日に本苑にて、参加者二十七名で開催いたしました。昨年よりも五名ばかり多くの方が参加して頂きまして、誠に嬉しく思います。お礼拝から始まり、本苑長の挨拶の中で教主さまが体調不良になり入院されていて、九月末に退院されると聞いて驚きました。そこで私は三十日朝に「病氣平癒祈願

お知らせ エスペラントの会

◆萩原先生を迎えてのエスペラント勉強会を十一月二十四日(日)午前十時より開催予定です(芸術部長 藤浦理子)



参加者記念写真



前田特派による講義

祝詞・神言を奏上させて頂きました。その後、前田特派宣伝使の講話へ移りました。講題は「宣伝使・信徒の心得」平常心の中に「天国」を築く事が大切で、他人から信用されるようにならないければお取り次ぎも、ご祈願も頼まれない。常日頃の心の持ち方が大事であるという内容でした。昼食後は「み手代お取り次ぎ」の実践ビデオを見てから、二人一組になって実践練習を行いました。その後は、芝田、三矢特任からお取り次ぎ・ご祈願の体験談があり最後に、参加者から質疑応答が多数あり前田特派から回答を頂き、閉会となりました。



み手代お取り次ぎの実践

十一月添釜 口切りの茶会

茶人の正月を迎え口切りにて、今年の新茶をお楽しみ下さい。茶道部/直心会第一ブロック

十一月の行事

- 三日(日) 大本開祖大祭 呈茶席(奉仕直心会)
- 十七日(日) 本苑十一月月次祭
- 二十四日(日) エスペラントの会
- 十二月の行事
- 一日(日) 少年冬季学級
- 十五日(日) 本苑十二月月次祭
- 全体会議
- 二十二日(日) 誠心会万祥殿献勞

私の 思い

碧南分所 樫山 満里子

米寿のお祝い

1937年生まれの私は来年11月で米寿(八十八才)を迎える事になります。

今日(九月十五日)蒲郡の本苑敬老の日月次祭に高木さんとその他の人達と出席致しました。久しぶりの本苑に私はすがすがしい気持ちと少し緊張しておりました。

敬老の日、月次祭も終わり米寿祝い記念品を頂きホツとしていたら、アチラコチラから笑顔がいっぱい、名前は出てこなかったが懐かしい昔の友、友、友、本当になつかしかった。

ホツで温かい雰囲気、こんな風景に感動しました。次世代の人達もにぎにぎしい本苑をよろしくお願いします。米寿を祝って頂き又新しいパワーと力をもらった様な気が致します。これからも健康に気をつけて楽しく生きてゆきたいと思います。

米寿のお祝いありがとうございました。

霊の礎

出口王仁三郎著

真神たる天之御中主の大神その霊徳の完備具足せるを天照皇大御神と称へ奉り、また撞の大御神と称え奉る。しかして火の御祖神(霊)を高皇産大神と称え巖の御魂と申し奉り、水の御祖神(体)を神皇産大神と称え瑞の御魂と申し奉る。

靈魂の恩頼 四 (みたまのふゆ)

(大正十四年十二月)「日出庵先生之旧稿」p五十六より

これが少年時代となり、青年時代となるに従って、次第に万事が自主的となつて来る。壮年、成年期に及んで始めて物質の上に於ては、どうやら自己の手足によつて生活し得る迄になるが、精神上に於ては未だ確かなる信念なく、単に衝動的にフラフラと二種の不安と焦慮(ししょうりよ)との間に日を送つ

ているのみである。物質の世話焼くのが肉体の両親(ふたおや)である様に、靈魂の世話焼くのが守護神様である。肉体の両親が一人を完全に育て上げる迄には、実に筆舌(ひつぜつ)に尽くせぬ辛勞をすると同様に、守護神様が一人前の靈魂を造り上げる迄の苦心お骨折というものは筆紙に尽くせ

ぬ多大なものである。

人には誰にでも的の気分の時がある。だから常によく自分で自分をさしわして、今は大いにやるべき時だとか、今は万事に注意すべき時だとかいう風によく心得ておらねばならぬ。天国的気分の時、即ち何となく心嬉しく、仕事もドンドン出来るという時には、思ったままを躊躇(ちゆうちゆう)なく為したらよい。この時は、副守護神(肉体我)に累(わづら)わされて引込思案に陥(おちい)つてはならぬ。

第二十二回

全国一斉

世界平和祈願

青松会長 三矢直彦

去る九月十一日(水)

に三河本苑の皆様には各機関をはじめ各信徒など世界の恒久平和実現に向け、昨年よりも多くの方に拝読していただきました。

ありがとうございます。
【結果報告】本苑・分所・

個人宅等：計八十四箇所
拝読者数：百六十八名

年末の万祥殿 献勞奉仕のお願い

誠心会長 三浦 浩

三河本苑の皆様、日々のご神業奉仕ご苦勞様です。

さて、恒例の誠心会行事であります。聖地天恩郷万祥殿での献勞清掃奉仕を左記の予定で行います。年末の忙しい時期ではあります。万祥殿での献勞奉仕で清々しいお正月を迎えられますように、大勢の皆様のご奉仕をお願いします。

【開催日】

十二月二十二日(日) 十時～十五時

(九時半頃までに万祥殿能舞台裏廊下集合)

【交通手段】自家用車等にて乗り合わせて現地集合をお勧めいたします。
【補助】乗用車一台につき五千円補助。

また、公共交通機関(新幹線等)でのご参加の方も一人二千円補助します。

ひと時の「貸本屋」

小学2・3年生の頃に良く通ったのが当時、はやりの「貸本屋」である

家から1000メートル離れたところにあったお店には約2000冊の本があり、一冊5円、新刊は10円で、ノートに借りた本を記入し、一週間後に返すシステムである

良く借りた本は、水木しげるの「鬼太郎」と白土三平の「忍者まんが」である

夜に出かけた時、雨の日も兄と二人で出かけた道のは決して楽ではない

小学校を横切るのが近道であるが、その道は、怖い暗い手洗い場があり、さらにトイレの脇を歩いて運動場を横断する

時にはポットン：ポットンと蛇口から水がもれる音がする

真つ暗なトイレは怖さが潜んでいる雨の日には、恐ろしさが増す
「鬼太郎」の本を借りた帰り道はさらに恐怖は倍増し走って通りぬけた

それでも漫画本が好きな少年でした